

第 170 回
全国都道府県議会議長会
定例総会会議録

令和 3 年 10 月 28 日

全国都道府県議会議長会

第 170 回

全国都道府県議会議長会

定例総会会議録

第 170 回全国都道府県議会
議長会定例総会出席者

第 170 回全国都道府県議会議長会定例総会出席者
(オンライン開催)

令和 3 年 10 月 28 日

北海道議会議長	小畑保則君
青森県議会議長	三橋一三君
岩手県議会議長	五日市王君
秋田県議会議長	柴田正敏君
宮城県議会議長	石川光次郎君
山形県議会議長	坂本貴美雄君
福島県議会議長	渡辺義信君
東京都議会議長	三宅しげき君
神奈川県議会議長	小島健一君
千葉県議会議長	信田光保君
茨城県議会議長	常井洋治君
栃木県議会議長	阿部寿一君
埼玉県議会議長	梅澤佳一君
群馬県議会議長	井田泉君
長野県議会議長	宮本衡司君
新潟県議会副議長	小島隆君
愛知県議会議長	坂田憲治君
三重県議会議長	青木謙順君
静岡県議会議長	宮沢正美君
岐阜県議会議長	佐藤武彦君
富山県議会議長	五十嵐務君
石川県議会議長	向出勉君
福井県議会議長	鈴木宏紀君
京都府議会議長	菅谷寛志君
大阪府議会議長	鈴木憲君
兵庫県議会議長	藤本百男君

奈良県議会議長	荻田義雄君
和歌山県議会議長	森礼子君
滋賀県議会議長	富田博明君
広島県議会議長	中本隆志君
岡山県議会議長	神宝謙一君
鳥取県議会議長	内田博長君
島根県議会議長	田中八洲男君
香川県議会議長	十河直君
徳島県議会議長	岩丸正史君
高知県議会議長	森田英二君
福岡県議会議長	秋田章二君
大分県議会議長	御手洗吉生君
佐賀県議会副議長	原田寿雄君
長崎県議会議長	坂本智徳君
宮崎県議会副議長	濱砂守君
鹿児島県議会副議長	吉留厚宏君
沖縄県議会議長	赤嶺昇君

ほか事務局出席者 4名

総員 47名

第 170 回全国都道府県議会
議長会定例総会記事

第 170 回全国都道府県議会議長会定例総会記事

(令和 3 年 10 月 28 日午後 2 時)

※本会議の記事内容詳細は別途速記録参照

1 開 会

青木信之全国都道府県議会議長会事務総長が開会を告げるとともに、オンライン出席上の注意事項について説明した。

2 会長あいさつ

全国都道府県議会議長会会長の柴田正敏秋田県議会議長があいさつを述べた後、宮沢正美静岡県議会議長が、10 月 12 日に柴田会長から静岡県熱海市の土石流災害に関する見舞金を贈呈した件で、御礼の発言を行った。

3 来賓あいさつ

青木事務総長が岸田文雄内閣総理大臣及び金子恭之総務大臣のメッセージを披露した。

4 新任正副議長等紹介

まず、青木事務総長が令和 3 年 7 月 14 日開催の第 169 回定例総会以降に就任した正副議長のうち、出席の議長 4 名を紹介した。

次に、都道府県議会議員デジタル化推進本部の新本部長、新副本部長、新本部員を青木事務総長が紹介した後、新本部長に就任した副会長の佐藤武彦岐阜県議会議長が就任あいさつを行った。

その後、議事に先立ち、柴田会長が副会長の小畑保則北海道議会議長を総会副議長に指名した。

5 議 事

(1) 議案審議

①役員会提出議案

役員会提出の4件の決議案の主な内容を青木事務総長から説明したのち、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり決定した。

なお、決議案に係る審議では、吉留厚宏鹿児島県議会副議長が、「アフターコロナに向けた地域経済の早期回復に関する決議（案）」に関して、「今後も、新しい感染症が流行してパンデミックが起きる可能性があり、保健所の体制を強化する必要があると思っている。保健師の恒常的な人員体制を強化するため、必要な地方財政措置などを講ずるよう、重点的な対策を一緒になって国にお願いしていただきたい」旨述べたのに対し、柴田会長が、「次の感染拡大や、新しい感染症が流行した際に備えるため、保健所の体制強化も含め、感染症対策の充実が図られるよう国にしっかりと要請を行ってまいりたい」と応じた。

②各委員会提出議案

各委員会提出の「令和4年度政府予算編成に関する提言（案）」について、各委員会の委員長から委員会審査の経過並びに結果について報告したのち、採決の結果、全会一致をもって委員長報告のとおり決定した。

(2) 令和4年に地方で開催する第173回定例総会開催地の決定

柴田会長が「本件については、10月20日の役員会において協議の結果、中国ブロックの広島県で開催することをご了承いただいているがご異議ないか」旨述べ、諮った結果、全員異議なく決定した後、中本隆志広島県議会議長があいさつを述べた。

6 報 告

(1) 自治功労者の表彰について

青木事務総長が、今回の受章者数は永年勤続功労者422名であり、本来は定例総会の場で表彰式を行うところ、定例総会がオンライン開催となったことから、総会

での表彰に代え、表彰状、記念品等を各議会に送付するので、各議会において受章者にお渡し願う旨を報告した。

(2) 第 21 回都道府県議会議員研究交流大会について

青木事務総長が、令和 3 年 11 月 15 日、16 日の 2 日間、対面とオンライン配信のハイブリッド方式で開催する 21 回目の都道府県議会議員研究交流大会の概要について報告した。

(3) 「多様な議員で構成された活力ある地方議会を目指す全国大会」について

青木事務総長が、令和 3 年 11 月 24 日に三議長会（全国市議会議長会、全国町村議会議長会、本会）が砂防会館において開催する「多様な議員で構成された活力ある地方議会を目指す全国大会」の概要について報告した。

7 閉 会

以上により閉会した。（午後 2 時 54 分）

第 170 回全国都道府県議会
議長会定例総会議事録
(速 記 録)

令和3年10月28日(木)

午後2時 開 会

開 会

○全国議長会事務総長（青木 信之君）全国都道府県議会議長会事務総長の青木でございます。

定刻となりましたので、只今より、第170回全国都道府県議会議長会定例総会を開会いたします。

7月に開催いたしました第169回定例総会と同様、47都道府県議会をオンラインで結んでの開催となりました。

恐縮ですが、今回も、御出席の皆様にご2点お願いがございます。1点目ですが、通信障害が発生することなく、本総会の議事が円滑に進行できるようにするため、正副会長及び次の発言予定者3名以外の方は、映像を非表示としていただきますようお願いいたします。本総会の議事次第と、総会の運営方法について記載された資料1「第170回定例総会の運営方法について」をお送りしておりますので、お手数おかけしますが、御参照いただければと存じます。

2点目ですが、御発言の際のみマイクをオンにいただき、それ以外の時は、ミュートの状態にさせていただきますよう、お願いいたします。

それでは、正副会長、静岡県、福島県、東京都以外の方は、映像を非表示としていただきますようお願いいたします。

会長あいさつ

○全国議長会事務総長（青木 信之君）それでは、柴田会長よりごあいさつをいただき、ごあいさつ後は、会議の進行をお願いいたします。

会長よろしく申し上げます。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）会長の柴田正敏でございます。第170回定例総会の開催に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

都道府県議会議長、副議長の皆様には、時節柄大変御多忙の中にも関わらず、本日の総会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

今日の都道府県行政をめぐっては、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立、人口減少社会への対応、脱炭素社会の実現、防災・減災対策や国土強靱化、農林水産業の活性化などに取り組む必要があります。そのための税財源を確保することが重要な課題となっております。

同時に、各都道府県がこうした様々な課題に対応していくためには、私たち議会が、地方公共団体の意思決定機関としての責務を果たしていくことが必要であり、そのためには、議会及び議員に対する住民の理解を深め、多様な人材の政治参画を促進する観点からも、議会の位置付け、議員の職務等を地方自治法で明確化することが極めて重要であります。

また、大規模自然災害の多発や感染症の拡大を踏まえ、いかなる時でも議会機能が発揮できるよう、議会のデジタル化を推進する必要があります。

こうした中、菅前総理がコロナ対策の柱として掲げたワクチン接種について、10月初旬には、全国民の6割以上の方が2回目の接種を終え、新規感染者数が大幅に減少し、19都道府県の緊急事態宣言と8県のまん延防止等重点措置が、先月末ですべて解除されました。

これを受け、私は、岸田内閣の閣僚及び与党幹部に対し、本会が抱える最重要課題に関する要請活動を迅速に実施する必要があると考え、今月12日、金子総務大臣、野田内閣府特命担当大臣、自由民主党の高市政務調査会長、橘総務部会長、石田地方議会の課題に関するプロジェクトチーム座長、こうした方々とお会いをし、地方税財源の充実確保や、地方議会の意思決定機関としての位置付け等が法律上で早期に明確化されるよう要請をしてまいりました。

また、今後、内閣総理大臣の諮問機関である地方制度調査会が設置される見通しであり、次の第33次地方制度調査会では、地方議会の位置付け等について審議される見込みであると聞いておりますことから、同12日、全国市議会議長会の清水会長ともお会いし、三議長会のより一層の緊密な連携を確認したところであります。

令和5年の統一地方選挙までにその実現が図られるよう、次の地方制度調査会に全力で臨む所存です。

議会のデジタル化については、坂田愛知県議会議長さんを本部長とするデジタル化推進本部にお取りまとめいただき、7月の定例総会で議決した「地方議会のデジタル化に関する決議」を先ほど申し上げた方々とお会いした際に併せて要請をさせていただいております。

デジタル化推進本部には、専門委員会と連携の上、議会のデジタル化に関する実務的な課題への対応を検討していただきたいと考えており、7月の定例総会での役員改選を踏まえ、副会長の佐藤岐阜県議会議長さんに新本部長をお願いするなど、新たなメンバーを選任いたしました。後ほど御紹介をさせていただきます。

本年も日本列島の各地で豪雨災害をはじめ、自然災害に見舞われました。中でも、7月に発生した静岡県熱海市の土石流災害では、26人の方々がお亡くなりになり、今もなお安否不明の方がおられます。被災地の皆様への心よりのお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。

先般、私から宮沢静岡県議会議長さんに見舞金を贈呈させていただきましたが、最も重要なのはこのような悲劇を二度と繰り返さないことです。

本日御審議いただく「令和4年度政府予算編成に関する提言（案）」では、国土交通委員会から提出された提言事項の中に、盛土の規制など、土石流災害の発生防止対策に関する要望もごございます。総会後は、議決事項の早期実現のため、役員会、各委員会において、要請活動を積極的に実施してまいりたいと存じます。

今後とも、山積する諸課題の解決に取り組み、会長としての責務を果たしていけるよう力の限りを尽くしてまいりますので、議長の皆様におかれましては、変わらぬ御支援、御協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます、私からのごあいさつとさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

ここで、宮沢正美静岡県議会議長さんから、発言の申し出があります。宮沢議長さん、お願いします。

○静岡県議会議長（宮沢 正美君）静岡県議会議長の宮沢でございます。発言の機会をいただきましてありがとうございます。

本県熱海市の土石流災害の発生に際しまして、過日、全国都道府県議会議長会から、心温まる見舞金をお寄せいただきました。この場をお借りして、衷心より御礼申し上げます。いただいたお見舞金は、被災した県民の支援のために有意義に活用させていただきます。

現在、本県では、国及び市と連携して、懸命に被災者の生活再建と災害復旧に取り組んでおります。本県議会といたしましても、同様な災害の再発防止に向けて、盛土の規制強化について審議するなど全力で取り組んでまいる所存です。

今後とも、皆様方には、土石流災害対策等、諸課題の解決に向け御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

誠にありがとうございました。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）宮沢議長さん、ありがとうございました。

来賓あいさつ

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次に、来賓からのごあいさつを賜りたいと存じます。岸田文雄内閣総理大臣、金子恭之総務大臣から、メッセージを戴いております。事務総長にメッセージを披露させます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）まず、岸田内閣総理大臣のメッセージを披露させていただきます。

第 170 回全国都道府県議会議長会定例総会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

都道府県議会議長の皆様には、日頃から、地域社会の発展や住民福祉の向上に、さらには、新型コロナ対応に全力を尽くしていただいておりますことに、心から御礼を申し上げます。

新型コロナについて、政府においては、ワクチン、検査、治療薬等の普及による予防、発見から早期治療までの流れをさらに強化するとともに、最悪の事態を想定して、具体的には感染力が2倍となった場合や、それ以上の感染拡大が生じ

る場合も想定して、次の感染拡大に備えることとしています。

この備えに当たっては、病床や人材の確保、ワクチン接種の促進など都道府県との連携が必要不可欠です。都道府県の御協力をいただきながら、次の感染拡大に向けた取組の全体像を取りまとめまいります。

併せて、新型コロナにより、様々な困難に直面した方々への支援などを盛り込む総合的かつ大胆な経済対策をとりまとめる決意です。

さらに、新型コロナ対応と経済対策に万全を期した上で、コロナ後の新しい経済社会を創り上げていかなければなりません。このため、新しい資本主義の実現に向けた検討を進めていきます。

その中で、なによりも大切なのは地方です。新しい資本主義は地方からスタートします。過疎化や高齢化といった地方の課題を、デジタルを実装することで解決する「デジタル田園都市国家構想」を進めてまいります。

議長の皆様におかれましては、今後とも、地方自治の推進に力を発揮されますことを御期待申し上げるとともに、国が進める諸政策への御理解、御協力を改めてお願い申し上げます。

令和3年10月28日、内閣総理大臣、岸田文雄。

以上でございます。

続きまして、金子総務大臣のメッセージを披露させていただきます。

第170回全国都道府県議会議長会定例総会の御開催、誠にありがとうございます。

都道府県議会議長の皆様方におかれましては、日頃より地域の発展に御貢献いただき、深く敬意を表します。

総務省では、7月に「新型コロナ等地方連携推進本部」を設置し、ワクチン接種やワクチン以外の新型コロナ対応等に向けた地方公共団体の支援に総力を挙げて取り組んでおります。

10月27日時点で全国民の約70%の方が2回の接種を終えられております。皆さまの懸命の御努力によって、接種を円滑に進めていただいていることに、心より感謝を申し上げます。

今後、希望する国民への11月中の接種の完了に向けた支援や、3回目接種、病床の確保等の様々な課題について、引き続き全国の自治体の状況をよく伺いな

から緊密に連携、協力することで自治体の後押しをしてまいります。

さて、社会全体のデジタル変革に向けては、住民に身近な行政サービスを担う地方公共団体の御協力が何よりも重要です。

行政のデジタル化の鍵であるマイナンバーカードは、政府として、「令和4年度末に、ほぼ全国民に行き渡る」ことを目指して取組を進めております。

皆様の御協力をはじめ、様々な取組により、累計で有効申請受付数は8月末に5,100万枚、交付実施済数は9月末に4,800万枚を超えました。さらなる普及に向けた御協力をお願いいたします。

地方財政に関しては、年末の地方財政対策に向けて、地方自治体が新型コロナウイルス感染症への対応や活力ある地域社会の実現といった重要課題に取り組みつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、「経済財政運営と改革の基本方針2021」に沿って、一般財源総額をしっかりと確保してまいります。

地方税制については、各地域が持続的に発展していけるよう、地方税源を安定的に確保することを第一に地方公共団体の皆様と力を合わせて取り組んでいく必要があります。

本年末の税制改正プロセスにおきましても、地方税源の確保に力強い御支援を賜りますようお願い申し上げます。

近年の風水害や、発生の切迫性が指摘されている巨大地震に鑑みれば、防災・減災、国土強靱化は一層重要性を増しており、消防の果たす役割はますます増大しております。大規模災害等に対応する緊急消防援助隊の体制の増強や、常備消防の充実強化、地域防災力の中核となる消防団の充実強化に取り組んでまいります。消防防災ヘリコプターの適切な運航や消防学校における教育訓練、市町村への御支援をお願いいたします。

最後になりますが、人口減少や過疎化の進行等、我が国が抱える様々な課題を解決するためには、活力ある地域づくりが重要であります。「地方の繁栄なくして国の繁栄なし」をモットーに、徹底した現場主義を貫き、地域の生の声を聞いて地域の発展に取り組んでまいります。

結びに、全国都道府県議会議長会のますますの御発展と、皆様方の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

令和3年10月28日、総務大臣、金子恭之。

金子総務大臣のメッセージを披露させていただきました。以上でございます。

新任正副議長等紹介

(1) 新任正副議長紹介

- 全国議長会会長（柴田 正敏君）次に、去る7月14日に開催した第169回定例総会以降に御就任された議長さんを、事務総長から御紹介させていただきます。
- 全国議長会事務総長（青木 信之君）去る7月14日に開催した第169回定例総会以降に御就任された正副議長は資料2のとおりでございますが、このうち本日御出席の議長の皆様を御紹介申し上げます。
岩手県議会議長、五日市王さんでございます。
- 岩手県議会議長（五日市 王君）岩手県議会議長の五日市王と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 全国議長会事務総長（青木 信之君）続きまして、福島県議会議長、渡辺義信さんでございます。
- 福島県議会議長（渡辺 義信君）福島県議会議長の渡辺義信でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 全国議長会事務総長（青木 信之君）続きまして、東京都議会議長、三宅しげきさんでございます。
- 東京都議会議長（三宅 しげき君）東京都議会議長の三宅しげきでございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 全国議長会事務総長（青木 信之君）続きまして、埼玉県議会議長、梅澤佳一さんでございます。
- 埼玉県議会議長（梅澤 佳一君）埼玉県議会議長の梅澤佳一です。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。
- 全国議長会事務総長（青木 信之君）御紹介は以上でございます。
- 全国議長会会長（柴田 正敏君）新任議長の皆様、ありがとうございました。

(2) 都道府県議会デジタル化推進本部新本部長等紹介

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次に、都道府県議会デジタル化推進本部の新本部長、新副本部長、新本部員の議長さんを、事務総長から御紹介させていただきます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）それでは、御紹介申し上げます。

本部長、岐阜県議会議長、本会副会長、佐藤武彦さん。

副本部長、沖縄県議会議長、本会地方自治委員会委員長、赤嶺昇さん。

本部員、宮城県議会議長、石川光次郎さん、茨城県議会議長、常井洋治さん、大阪府議会議長、鈴木憲さん。

以上でございます。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）それでは、新本部長の佐藤岐阜県議会議長さんより、代表して就任のごあいさつをいただきたいと存じます。

佐藤議長さん、よろしくお願いいたします。

○岐阜県議会議長（佐藤 武彦君）皆さん、こんにちは。このたび、都道府県議会デジタル化推進本部長を拝命しました岐阜県議会議長の佐藤武彦でございます。

前任の本部長であります坂田愛知県議会議長さんをはじめ、これまで推進本部のメンバーをお務めいただきました皆様方におかれましては、都道府県議会のデジタル化の推進に御尽力いただき、厚く御礼を申し上げます。

引き続き、副本部長の赤嶺沖縄県議会議長さんをはじめ、新体制となった推進本部の皆様と力を合わせ、都道府県議会におけるデジタル化の進展に向け、取組を進めてまいります。

どうか、議長各位の御支援、御協力をお願い申し上げ、私からのごあいさつといたします。よろしくお願いいたします。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）佐藤議長さん、ありがとうございました。

都道府県議会のデジタル化の推進のため、活発な御議論をお願い申し上げます。

議事に先立ち、本総会の副議長につきましては、小畑保則北海道議会議長さんをお願いいたします。

議 事

(1) 議案審議

○全国議長会会長（柴田 正敏君） それでは、日程に従い議事に入ります。

(1) 議案審議であります。

まず、役員会提出に係る決議案を議題といたします。今回の提出は、「アフターコロナに向けた地域経済の早期回復に関する決議（案）」など4件であります。決議案の主な内容を事務総長に説明させます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君） それでは、4件の決議案の主な内容について御説明させていただきます。資料は4-1から4-4でございます。

まず、資料4-1の「アフターコロナに向けた地域経済の早期回復に関する決議(案)」では、新型コロナウイルス感染症対策の充実のため、病床及び宿泊療養施設の確保への財政支援、PCR検査体制の強化への支援、また、疲弊した地域経済の早期回復のため、危機に瀕する事業者支援等を盛り込んだ経済対策の早期実施、段階的な行動制限の緩和による社会経済活動の本格的再開等を求めるものでございます。

次に、資料4-2の「地方税財源の充実確保に関する決議(案)」では、地方は財源不足が続く中でも、新型コロナウイルス感染症対策や社会保障サービスの提供等に責任を持って対応していく必要があるため、地方財政計画への地方の財政需要の適切な反映、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額の確実な確保等を求めるものでございます。

次に、資料4-3の「地方議会の団体意思決定機関としての位置付けを明確に規定する地方自治法の改正等の早期実現を求める決議(案)」では、令和5年の統一地方選挙までに、議会の位置付けや議員の職務等の法律上の明確化、また、平時、コロナ禍等にかかわらず、議会機能を十分発揮するための議会のデジタル化への取組支援等を求めるものでございます。

最後に、資料4-4の「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議(案)」では、国が前面に立った福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組の推進、処理水の処分により、これまで積み重ねてきた風評

払拭の努力を後退させないための対策等を求めるものでございます。

御説明は、以上でございます。

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）決議案の主な内容は事務総長説明のとおりであります。ここで吉留鹿児島県議会副議長さんから発言の申し出があります。吉留副議長さん、お願いいたします。

○**鹿児島県議会副議長**（吉留 厚宏君）発言の機会をいただき、大変ありがとうございます。役員会提出議案4件のうち、「アフターコロナに向けた地域経済の早期回復に関する決議（案）」の1の（3）について、発言をさせていただきます。

この度の新型コロナウイルス感染症の影響により、本県を含め、保健所が非常に厳しい状況となりましたことは皆様御承知のとおりであります。行政改革が十数年来の政治のテーマであり、その結果、保健所の数が非常に少なくなり、その影響が今般の新型コロナウイルス感染症で明らかとなったところであります。

今後も、数年か、数十年おきに新しい感染症が流行して世界的なパンデミックが起きる可能性があります。今回のような混乱を再び招かないためにも、保健所の体制を今後強化する必要があるかと思えます。保健師の恒常的な人員体制を強化するために必要な地方財政措置などを国に講じていただければと思います。重点的な対策を皆様と一緒に国にお願いしていただければと思っております。

以上であります。

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）只今、吉留鹿児島県議会副議長さんから、大変重要な御意見をいただきました。

総会の後は、次の感染拡大や新しい感染症が流行した際に備えるため、保健所の体制強化も含め、感染症対策の充実が図られるよう、国にしっかりと要請を行ってまいりたいと思えます。

本件について、ほかに御質疑、御意見がございましたら御発言をお願いいたします。現在、映像を表示していない方でも、何か御発言される場合は、映像を表示いただき御発言いただいで結構でございます。いかがでしょうか。

それでは、特に御発言がないようでございますので、本件については、

原案のとおり決定することに御異議ございませんか。何かございましたら、御発言をお願いします。御異議がない場合、異議なしと御発言いただいても結構です。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**全国議長会会長** (柴田 正敏君) それでは、御異議がございませんので、そのように決定いたします。

次に、各委員会提出議案を一括して議題といたします。まず、去る10月20日に開催された委員会において決定されました各議案の審査の経過並びに結果について、各委員長から順次御報告願います。

はじめに、地方自治委員会委員長の赤嶺昇沖縄県議会議長さんをお願いいたします。

○**沖縄県議会議長** (赤嶺 昇君) 地方自治委員会委員長の沖縄県議会議長、赤嶺昇です。去る10月20日に開催した地方自治委員会の審査の経過と結果について御報告申し上げます。

委員会では、総務省から「地方行政のデジタル化」について説明を聴取したのち、あらかじめ正副委員長において取りまとめた本委員会関係議案を審査いたしました。その結果、いずれも原案のとおり決定し、本日の定例総会に提出することといたしました。以下、議案の主な事項について御説明いたします。

「地方税財源の充実強化について」は、安定的な財政運営に必要な一般財源総額の確実な確保、令和2年度限りの措置である減収補填債の対象税目の拡大、令和3年度まで発行が認められた特別減収対策債及び特別減収対策企業債への適切な対応、次に、「地方創生の推進について」は、企業や大学の地方移転の推進やテレワークを活用した移住等の取組の推進、次に、「地方分権改革の推進と地方議会の団体意思決定機関としての位置付けの明確化等について」は、地方議会・議員の団体意思を決定する責任を明確化し、その重要な役割への住民の理解と、女性、若者等多様な人材の政治参画につなげるための地方議会の位置付けや議員の職務等の地方自治法への規定、次に、「デジタル社会の実現に向けた取組の推進について」は、地方議会のデジタル化の効果的な促進のための人材の確保・配置等への支援、次に、「災害対策の充実強化について」は、大規模自然災害からの早期復旧・復興に向けた中長期的な財政措置の継続や予算の確保、次に、「基

地対策等について」は、住民生活の安全確保のための万全な措置、このほか、参議院議員選挙における合区の早期解消、悪質商法からの消費者被害防止対策、犯罪被害者等への支援の充実、外国人材の受入れ体制の強化、一日も早い日本人拉致問題の解決、北方領土の早期返還、竹島の領土権確立、尖閣諸島問題の解決などとなっております。

以上をもって、地方自治委員会の審査の経過と結果についての御報告といたします。

○全国議長会会長（柴田 正敏君） どうもありがとうございました。

次に、社会文教委員会委員長の阿部寿一栃木県議会議長さんをお願いいたします。

○栃木県議会議長（阿部 寿一君） 社会文教委員会委員長の栃木県議会議長、阿部寿一でございます。

去る 10 月 20 日に開催した社会文教委員会の審査の経過と結果について御報告申し上げます。

委員会では、厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症から国民を守る医療等提供体制の確保」について説明を聴取したのち、あらかじめ正副委員長において取りまとめた本委員会関係議案を審査いたしました。その結果、いずれも原案のとおり決定し、本日の定例総会に提出することといたしました。以下、議案の主な事項について御説明いたします。

「新型コロナウイルス感染症対策の充実について」は、感染症緊急包括支援交付金の対象拡大や増額、「少子化対策・子育て支援の推進について」は、「子ども・子育て支援新制度」を着実に実施するための 1 兆円超の安定財源の確保、「介護職員の確保について」は、介護事業者の処遇改善加算取得の促進、「地域医療提供体制の強化について」は、医師不足解消のため、医学部定員増の継続、「障害者の生活支援の充実について」は、「地域生活支援事業」への財政支援の充実、「孤独・孤立対策の充実について」は、相談窓口の整備に対する支援の充実、「教育の機会均等と水準の維持向上に向けた取組について」は、35 人学級への円滑な移行のための教職員の確保と質の向上、「国際リニアコライダーの実現について」は、準備研究所の設立に向けた積極的な対応、「世界遺産の登録に向けた取組の推進について」は、積極的な取組の推進と保護措置への財政支援の充

実となっております。

以上をもって、社会文教委員会の審査の経過と結果についての御報告といたします。

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君） どうもありがとうございました。次に、経済産業環境委員会委員長の五十嵐務富山県議会議長さんをお願いいたします。

○**富山県議会議長**（五十嵐 務君） 経済産業環境委員会委員長の富山県議会議長、五十嵐務です。

去る 10 月 20 日に開催した経済産業環境委員会の審査の経過と結果について御報告申し上げます。

委員会では、中小企業庁から「最近の中小企業政策」について説明を聴取したのち、あらかじめ正副委員長において取りまとめた本委員会関係議案を審査いたしました。その結果、いずれも原案のとおり決定し、本日の定例総会に提出することといたしました。以下、議案の主な事項について御説明申し上げます。

「疲弊した地域経済への総合的な経済対策について」は、我が国経済をデフレに後戻りさせないための適切な経済対策の実施、次に、「中小企業・小規模事業者支援の充実強化等について」は、事業継続のための税制等の支援、融資や返済猶予等の資金繰り対策の推進、次に、「企業の地方移転と雇用創出の推進について」は、企業の地方移転及び地方にある企業の機能強化に対する支援、次に、「脱炭素社会の実現及びエネルギーの安定供給確保について」は、実現に向けた具体的な道筋の明示と脱炭素化の取組に対する技術的、財政的支援、次に、「先端産業支援の充実強化について」は、A I、ロボット等の研究開発の推進、次に、「地域銀行の経営基盤の強化について」は、金融サービスを持続的に提供できるよう経営の維持、安定に必要な支援策、次に、「中心市街地、商店街の活性化対策の推進について」は、活性化のための人材の育成支援や需要喚起策、最後に、「生活環境保全対策の推進について」は、プラスチックごみ対策の推進となっております。

以上をもって、経済産業環境委員会の審査の経過と結果についての御報告とさせていただきます。

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君） どうもありがとうございました。次に、国土交通委員会委員長の富田博明滋賀県議会議長さんをお願いいたします。

○滋賀県議会議長（富田 博明君）国土交通委員会委員長の滋賀県議会議長、富田博明でございます。

去る 10 月 20 日に開催した国土交通委員会の審査の経過と結果について御報告申し上げます。

委員会では、内閣官房から「国土強靱化の推進」について説明を聴取したのち、あらかじめ正副委員長において取りまとめた本委員会関係議案を審査いたしました。その結果、いずれも原案のとおり決定し、本日の定例総会に提出することといたしました。以下、議案の主な事項について御説明いたします。

「アフターコロナにおける活力ある国土交通政策の実現について」は、防災・減災対策、交通事業者や観光事業者への支援などを盛り込んだ経済対策の早期実施、次に、「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化について」は、インフラ整備の予算確保、盛土に係る土石流災害の発生防止対策、次に、「道路の整備促進について」は、高速道路、地域高規格道路などの整備促進、次に、「鉄道の整備促進について」は、新幹線の整備促進、並行在来線の経営安定対策、次に、「空港、港湾の整備促進について」は、空港の機能強化、港湾の整備促進、次に、「観光振興対策の充実強化について」は、新型コロナウイルス感染が一定程度収束した段階における観光需要の喚起策、次に、「特定地域振興対策等の推進について」は、離島振興、豪雪地帯対策、最後に、「所有者不明土地、空き家対策の充実強化について」は、土地の適切な利用、管理、流通の促進、空き家の発生を抑制するための支援となっております。

以上をもちまして、国土交通委員会の審査の経過と結果についての御報告といたします。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）どうもありがとうございました。最後に、農林水産委員会委員長の田中八洲男島根県議会議長さんをお願いいたします。

○島根県議会議長（田中 八洲男君）農林水産委員会委員長の島根県議会議長、田中八洲男です。

去る 10 月 20 日に開催した農林水産委員会の審査の経過と結果について御報告申し上げます。

委員会では、林野庁から「森林・林業・木材産業の現状と課題」について説明を聴取したのち、あらかじめ正副委員長において取りまとめた本委員会関係議案

を審査いたしました。その結果、いずれも原案のとおり決定し、本日の定例総会に提出することといたしました。以下、議案の主な事項について御説明いたします。

「農業・農村の持続的な発展に向けた取組の推進について」は、農業農村整備に関する予算の確保、農地利用集積の加速化及び農業生産基盤整備の推進、担い手の確保・育成、鳥獣被害防止対策の充実、次に、「食の安全・安心を確保する制度の拡充強化について」は、家畜伝染病の発生及び感染拡大を防止するための防疫・検疫体制の強化、次に、「森林吸収源対策及び林業・木材産業の活性化対策の推進について」は、森林整備事業及び治山事業を推進するための予算の確保、国産材の需要拡大に向けた利活用の推進、最後に、「水産資源の安定的な確保及び漁業経営の強化について」は、水産基盤整備の計画的かつ着実な推進、違法操業の監視及び取締りの充実強化となっております。

以上をもって、農林水産委員会の審査の経過と結果についての御報告といたします。

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）どうもありがとうございました。以上で、各委員会における議案の審査の経過並びに結果についての報告は終わりました。

只今の報告に対し、御質疑、御意見がございましたら、御発言願います。

（「なし」の声あり）

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）それでは、お諮りいたします。

各委員会から提出されました議案は、いずれも原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）御異議がございませんので、そのように決定いたします。

なお、お手元の資料4—6、「第170回定例総会議決事項の推進方法」に記載のとおり、只今御決定いただきました、決議につきましては正副会長により11月16日に、提言につきましては各委員会の正副委員長により11月中、下旬、具体的日時は資料に記載をしておりますが、それぞれ関係方面への要請活動を行っていただくこととしております。御参加いただきます議長各位には何卒よろしくお願いたします。

(2) 令和4年に地方で開催する第173回定例総会開催地の決定

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次に、(2) 令和4年に地方で開催いたします第173回定例総会開催地について、お諮りいたします。

本件につきましては、10月20日の役員会において、中国ブロックの広島県で開催することで御了承いただいておりますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○全国議長会会長（柴田 正敏君）御異議がないものと認めます。

よって、令和4年に地方で開催いたします第173回定例総会は、中国ブロックの広島県で開催することに決定いたしました。

この際、中本広島県議会議長さんからごあいさつをお願いいたします。

○広島県議会議長（中本 隆志君）只今御紹介をいただきました広島県議会議長の中本隆志でございます。

来年秋の第173回全国都道府県議会議長会定例総会の広島県での開催を決定いただきまして、誠に光栄に存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今定例総会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン開催となりましたが、現在は感染者数も大幅に減少してきております。

そうした中、各都道府県議会議長の皆様におかれましては、住民の命と健康を守ることを最優先に、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、地域の経済、雇用、教育等を守るべく、日々御尽力されていることと思います。私としても、皆様とともに、この難局を乗り越え、一日も早く、新型コロナウイルス感染症が収束することを願うものであります。

そして、去年は残念ながら広島での総会開催がかなわなかったわけですが、来年の秋には、ぜひとも多くの皆様に広島にお越しいただき、広島の魅力を感じていただきたいと思います。広島は、世界遺産である原爆ドームや厳島神社をはじめとした文化や歴史、瀬戸内海や中国山地の豊かな自然や豊富なグルメなど多彩な魅力に溢れております。

来年開催の第173回定例総会が実りのある会となりますよう、また、皆様方に御満足いただける会となりますよう、準備を進めてまいります。

最後になりますが、全国各都道府県のますますの御発展と、皆様方の御健勝、御多幸を心より御祈念申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）中本議長さん、ありがとうございました。

中本議長さんをはじめ関係者の皆様には大変お世話になりますが、よろしくお願いいいたします。

報 告

（１）自治功労者の表彰について

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次は、報告事項でございます。事務総長に報告させます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）自治功労者の表彰等 3 件を御報告いたします。

資料 5 - 1 として自治功労表彰受章者名簿をお手元に配付させていただいております。

自治功労者の表彰は、「全国都道府県議会議長会表彰内規」第 3 条に基づき、10 年以上在職した議員について、在職年数が 5 年増すごとに、定例総会において永年勤続功労者として表彰しております。今回、各都道府県議会から推薦され、受章された方は、資料 5 - 1 の名簿に記載されたとおり、422 名でございました。

また、同内規第 4 条に基づく議長在職 5 年以上等の特別功労者表彰という制度もございしますが、今回は該当の方がおられません。

本来であれば、定例総会の場において、表彰式を行うところでございますが、コロナ禍によりオンライン開催となったことから、今回は総会での表彰に代え、表彰状と記念品を郵送させていただきますので、各議会におきまして、受章者にお渡しをお願いしたいと存じます。よろしくお願いいいたします。

（２）第 21 回都道府県議会議員研究交流大会について

○全国議長会事務総長（青木 信之君）次に、2 点目の報告事項でございます。

資料5-2として、第21回都道府県議会議員研究交流大会のリーフレットを配付させていただいておりますが、11月15日、16日の2日間、対面とオンラインのハイブリッド方式で開催するものでございます。

基調講演の後、3つの分科会を開催しますが、分科会のパネリストにつきましては、各府県議会の議員の皆様にお引き受けいただきました。第1分科会は福島県議会の吉田議員、熊本県議会の溝口議員、第2分科会は大阪府議会の前田議員、広島県議会の緒方議員、第3分科会は秋田県議会の北林議員、長崎県議会の浅田議員でございます。ありがとうございます。

参加予定者数は、対面参加が約100名、オンライン参加が約500名、基調講演、すべての分科会に参加される方もいらっしゃるかと聞いており、延べ人数で約1,700名の方々に御参加いただける見込みでございます。

事務局としてもしっかり準備をしております。よろしく願いいたします。

(3) 「多様な議員で構成された活力ある地方議会を目指す全国大会」について

○全国議長会事務総長（青木 信之君）次に、3点目の報告事項でございます。

資料5-3でございますが、三議長会では、例年11月、時宜に即したテーマで全国大会を開催しております。昨年は、「活気ある地方議会を目指す全国大会」を開催し、地方公共団体の意思決定機関としての位置付け等必要な制度改正を求める決議を採択いただきました。

今年は、地方公共団体の意思決定機関である地方議会が性別や年齢構成等に偏りがなく、多様な議員で構成され、デジタル技術の活用等により、多くの住民の声を反映した審議を通じて、活力ある地方議会を目指すことを目的として開催するものでございます。

日時は11月24日（水）、12時15分から、会場は砂防会館でございます。

来賓は、金子恭之総務大臣、野田聖子男女共同参画担当大臣を予定しております。

大会は2部構成で、1部は決議の採択などを行い、2部は基調講演とパネルディスカッションを予定しており、大会終了後は、三議長会会長が、政府、与党に

大会決議について要請する予定でございます。

12 月定例会を控え、お忙しい時期かと存じますが、多くの方に御出席いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

御報告は以上でございます。

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）只今の報告に対し、御質疑、御意見がございましたら、御発言願います。ございませんでしょうか。

御発言がないものと認めます。

そ の 他

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）次に、日程 7、その他でございますが、この際何かございましたら、御発言をお願いします。

よろしいでしょうか。

閉 会

○**全国議長会会長**（柴田 正敏君）特に御発言もないようですので、これをもちまして、第 170 回定例総会を閉会いたします。

御協力、誠にありがとうございました。

午後 2 時 54 分 閉会